

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

市南ブロック

なにわ訪問看護ステーション

田中千津子

市南ブロック6区 2ヶ所の教育ステーション (阿倍野・東住吉・平野・西成・住吉・住之江)



西成・住吉・住之江は訪問看護ステーションナウロマンティックが担当

目標

- 1)多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する
- 2)暴力・虐待・ハラスメントについての知識を深め、体制の整備、職場環境の整備をすることができる
- 3)地域の専門・認定看護師等との連携、コンサルテーション事業の周知と活用ができる

当ステーションは東側の
「阿倍野区・東住吉区・平野区」を担当

研修事業①集合

- ▶ 日時：6月22日(土) 13時45分～16時50分
- ▶ 「人生会議（ACP）」支援実践人材育成研修
- ▶ 場所：東住吉区民ホール
- ▶ 目標人数：51名
- ▶ 参加者：45名（当日欠席7名）
- ▶ 気づき：ACP研修に参加したことが初めてという参加者が6割、ACP実践の「自信がある」と答えた人が研修前にはおらず研修後は3割いたこと等から、人材育成に貢献出来た部分はある。今年度は多職種対象ということで、参加者は訪問看護師が最も多かったものの各グループ1～2名はセラピストやケアマネジャー、介護士等の職種が参加し、色々な職種の意見があり勉強になったという意見が得られた。グループワークも活発に行われていたように見受けられたが、ファシリテーターの声が小さくてあまりよく聞こえなかったという意見もあったため、今後の課題といえる。



2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
「令和6年度大阪府人生会議相談対応支援事業」
一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会
市南ブロック教育ステーション
なにわ訪問看護ステーション

「人生会議（ACP）」の実践に必要な基本的概念
や知識・方法がわかる

「人生会議(ACP)」 支援実践人材 育成研修

2024年6月22日(土)
13:45～16:50

参加費
無料

会場：東住吉区民ホール

地域の医療・介護を支える業務 お疲れ様です。
認知症や一人暮らしの人が増加する中で、病状が悪化した
時に本人の意思が確認できておらず困った経験がございましたら
ないでしょうか？
講義とロールプレイで患者・利用者さんの価値観に
沿ったケア実践を一緒に学びましょう！



基調講演（動画）

講師：濱吉 美穂氏
佛光大学 保健医療技術学部
看護学科 老年看護領域

参加お申し込み
はこちらから→



研修事業②集合

- ▶ 日時：10月11日(金) 18時～19時15分
- ▶ 地域の専門・認定看護師等との連携および困難事例についての研修
「在宅での特定行為の実際について」
- ▶ 場所：大阪鉄道病院3階講堂
- ▶ 目標人数：40名
- ▶ 参加者数：41名（当日欠席9名）
- ▶ 気づき：在宅での特定行為の実際についてとグループワークを実施した。特定行為を看護師が行う意義について具体的な事例を通して訪問看護師・病院看護師ともに学ぶことが出来、グループワークを通して連携強化にもなり、満足度も高い結果となった。

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
市南ブロック教育ステーション
なにわ訪問看護ステーション



看看連携研修会



地域の専門・認定看護師等との連携
および困難事例についての研修

日時：2024年10月11日(金) 18:00～19:15

開催法：会場参加（定員50名）

場所：大阪鉄道病院 3階 講堂

大阪市阿倍野区松崎町1-2-22

対象：看護師

参加費：無料

〈スケジュール〉

18:00 開会挨拶

18:05 事例紹介：「在宅での特定行為の実際について」
訪問看護ステーション ハートフリーやすらぎ
管理者 在宅ケア認定看護師 田端 支普さん

18:20 グループディスカッション

～日頃の悩みやお困りごとなど自由に語り合しましょう～

19:00 発表・まとめ

顔の見える関係を超えた意見の言える関係、
それを超えた信頼して付き合える関係を
築いていきましょう！

参加者氏名	
所属機関	
連絡先Fax	

申し込みは
Fax 06-
6625-6602
又は
こちらから→



お問い合わせ先

市南ブロック
なにわ訪問看護ステーション
TEL: 06-6625-6601
FAX: 06-6625-6602
email: naniwahoukan@gmail.com
担当者: 田中千津子

研修事業③オンライン

- ▶ 日時：8月22日（木）18時～19時
- ▶ 暴力・虐待・ハラスメント研修

「訪問看護の現場におけるハラスメント対策～カスタマーハラスメントを考える～」

- ▶ 講師：武ユカリ氏（森ノ宮医療大学大学院教授）
- ▶ 場所：Zoom
- ▶ 目標人数：60名
- ▶ アンケート数：57名

- ▶ 気づき：訪問看護の現場におけるカスタマーハラスメント中心の講義ではあったが、暴力・虐待・ハラスメントについての基本から説明があり、基本的な内容と現場で問題になりやすいカスタマーハラスメントへの対策等について学べた。わかりやすかったという意見も多く、オンライン研修であることで参加もしやすく、一つの事業所から複数名参加することも可能であった。一方でアンケート結果からは、組織内でハラスメント対策をしていない事業所が参加者の14.6%、地域の支援体制が「全くない」9.8%・「わからない」39%と地域の課題が感じられる結果となった。

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
市南ブロック教育ステーション
なにわ訪問看護ステーション



ハラスメント研修

訪問看護の現場におけるハラスメント対策
～カスタマーハラスメントを考える～

講師 森ノ宮医療大学看護学部看護学科 在宅看護学
森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻
教授 武 ユカリ 氏

日時：2024年8月22日（木）18:00～19:00

場所：オンライン（ZOOM）

参加費 無料

定員：100名

対象：訪問看護師、セラピスト、ケアマネジャー 等

申込締め切り期日：7月22日まで

申込方法：下記URLまたはQRコードよりお申込みください

<https://forms.gle/Zgt1na9u4Ky8QPLo9>

お申込みはこちらから↓



ハラスメントへの理解を深め、
安全に安心してケアが出来る
環境を整えていきましょう！

お問い合わせ先
市南ブロック
なにわ訪問看護ステーション
TEL：06-6625-6601
email：naniwahoukan@gmail.com
担当者：田中千津子

府民への相談支援事業

- ▶ 内容：訪問看護についての周知と健康維持情報の提供
- ▶ 開催日：6月12日から7月5日にかけてチラシを配布
- ▶ 対象地区：阿倍野区・東住吉区・平野区
- ▶ 方法：各区で地域住民の目に留まりやすい方法で訪問看護と熱中症予防策についてのチラシを配布
(阿倍野区は回覧板、東住吉区・平野区は高齢者の集会等)

- ▶ 配布数：4800枚
- ▶ 気づき：チラシ配布時、住民に説明する際に訪問看護が周知されていないことは改めて感じた。一方で興味を示してくれる方もいたため、地道な活動は必要であると感じた。訪問看護師が配布する場となる地域活動の場に訪れることで、住民はどのような地域活動をしているのか等を垣間見ることができた。ただし、チラシがどの程度見てもらえたかの反応はわからないため、効果としては地域住民へ訪問看護について伝えるきっかけ作りの一つとなった程度である。強いていうなら区民向けの講演時に訪問看護について説明して欲しいという依頼があった。



※参考：厚生労働省「熱中症予防のための情報・資料サイト」
作成：なごみ訪問看護ステーション（2024年度大阪府訪問看護ステーション協会市南ブロック教育ステーション）

体験研修

①看護業務

- ▶ 参加者数：目標3名/実績2名
- ▶ 参加者職種：新規開設ステーションの訪問看護師2名

②管理業務

- ▶ 参加者数：目標1名/実績1名
- ▶ 参加者職種：新規開設ステーションの管理者1名

気づき

「看護業務」については、生活の場で看護を提供する際の工夫や学びを共有していくことで看護の質を高めていけること、経験の浅い訪問看護師は経験を積んだ訪問看護師のコミュニケーションスキルを知ることによって学びにもなったことなど、体験を通して学びと連携強化といった効果があった。特に新規開設ステーションは利用者数も少ないことから、今後や実地経験が乏しいことに不安があるスタッフの不安の軽減やモチベーションのアップ、教育の場等の効果があると考えます。

「管理業務」については、情報収集のポイント、在宅での療養環境の整備やケアの組み立て方、カンファレンスの持ち方、重要事項説明書の説明の仕方など具体的な管理者の動きを学ぶ体験研修となったことが伺えた。新規開設したステーションの管理者には貴重な経験である。

2024 年度大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション事業 市南ブロック

1 日訪問看護体験研修

参加費無料！

訪問看護の現場を体験してみませんか？

病院看護師や学生、福祉関係の方々など様々な方が体験されています。

研修受付期間 5月～12月



【体験研修 一日の流れ】

9:00	ステーションへ集合
9:00～9:30	オリエンテーション
9:30～12:00	午前の訪問 等
12:00～13:00	お昼休憩
13:00～15:30	午後の訪問 等
15:30～16:00	振り返り、終了

1 日の流れに沿って担当看護師と一緒に自転車で訪問宅に移動。

2～3 軒のご利用者様宅へ訪問し、看護の実態を見学してもらったり、ご利用者様とコミュニケーションをとってもらったりしています。

また利用者様宅への訪問が出来ない場合や、看護管理者等向けの事務所内での研修も実施しています。

ご興味のある方は下記ステーションまでご連絡を！

研修の日程調整をします。

※可能な限り、ご希望の地区、ステーション見学の調整もしております。

連絡先 なにわ訪問看護ステーション 担当：田中

住所：大阪市阿倍野区文の里四丁目19番20号

Tel：06-6625-6601

Fax：06-6625-6602

電話相談

- ▶ 目標18件・実績32件
- ▶ 相談内容：報酬22件、実務12件、指示書9件、内精神科関連9件
- ▶ 相談元：訪問看護ステーション管理者12件、訪問看護ステーション事務員12件、訪問看護ステーションセラピスト2件、ケアマネジャー2件、病院事務1件
- ▶ 気づき：

相談内容からは、精神疾患や難病の利用者の場合に制度を複雑に感じ困っている質問がみられた。

診療報酬改定関連の相談もあった。

協会非加入ステーションの事務員から報酬・実務関連の相談が複数回あったが、施設内で複数回訪問しているケースや精神科関連の相談内容が多く、すでに訪問をしている状況で算定出来るか否かの質問であることが気にはなった。施設への訪問看護が増えているのであれば今度も同様の相談は続くのではないかと考えられるため課題といえる。

2024年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション「電話相談事業」

訪問看護「教育ステーション」による 電話・FAX相談を開設しました！

＜訪問看護師、ケアマネジャー
その他専門職の皆様へ＞

相談無料

たとえば、こんな相談をお受けします

- 訪問看護等の医療系サービスの導入方法
- 訪問看護や訪問看護に関連する制度について
- 在宅療養に向けて必要となる医療的ケアや環境調整
- 他職種（医師等）とのスムーズな連携方法
- 利用者の医療ニーズのアセスメント
- 家族・介護者への介護指導や支援の必要性の判断 ……など

4月～1月末
実施中。お気軽
にご活用下さい。



阿倍野区・東住吉区
・平野区 相談窓口

なにわ訪問看護ステーション
(市南ブロック教育ステーション)

電話：06-6625-6601

「電話相談です」とお伝えください

FAX：06-6625-6602

裏面FAX相談用紙をご使用ください

受付時間：月～金 13時～16時

後日1～3日で当ステーションまたは協力ナースから返答します

※ 西成区・住吉区・住之江区の相談は「ナウロマンティック訪問看護ステーション」が対応中です。こちらでも是非ご利用ください。

※ ご相談内容は、事業報告書等に掲載する場合がございますが、ケアマネジャーの皆様やご利用者の個人情報特定できる形で公表することは一切ございません。

なにわ訪問看護ステーション（担当：田中千津子）
〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里四丁目19番20号
TEL 06-6625-6601 FAX06-6625-6602

コンサルテーション

①電話 目標 1 回/実績なし

②対面 目標 1 回/実績2回

- ・重度心身障害児の通所施設へ摂食・嚥下障害のある児のQOLを高めるための援助方法のアドバイス
- ・医療特化型有料老人ホーム開設にむけて併設訪問看護ステーション立ち上げに関する管理についての課題の整理とアドバイス

気づき：コンサルテーション事業は訪問看護サービスの質の向上にもなるが、今年度は他職種からの専門的知識の要望と新規開設に向けてのサポートという形になっていた

2024 年度大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション事業

コンサルテーションのご案内

訪問看護師の皆様、日々の訪問でどうしてもうまくいかない、困った、悩んでいる。そんなことはありませんか？
経験豊富なステーションスタッフが電話での相談やオンライン面談、必要時同行訪問等を行います。ぜひ、ご活用ください！

実施期間：令和 6 年 12 月末まで

費用は無料です

コンサルテーションを受ける際の手順

- ①コンサルテーション申込書（裏面）に依頼したい内容を記入
 - ②なにわ訪問看護ステーションに「コンサルテーションを受けたい」旨の電話連絡、または FAX を送付
- 依頼内容に応じて、コンサルタントとの日時の約束、設定等コーディネートします

【コンサルテーション内容】

- ① 看護実践に関する課題（困難事例の対応、看護サービスの内容や方法など）へのアドバイス
 - ② 訪問看護ステーションの運営管理領域（ステーションの運営や人材育成など）
 - ③ がんターミナル期における様々なお困りごと
 - ④ リハビリセラピストへの相談 など
- お困りの内容に応じて、地域の協力ステーション、協力看護師と協働し対応いたします

☆尚、本事業においてはコンサルタント（援助側）、コンサルティ（援助される側）両者からの簡単な報告書が必須となります

コンサルテーションに関するお問い合わせはこちら

TEL 06-6625-6601 FAX 06-6625-6602

大阪府訪問看護実践研修事業（教育ステーション）市南ブロック

なにわ訪問看護ステーション（担当：田中）

〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里四丁目19番20号

協カステーション・協カナース

【協カステーション名（所在地）/役割やサポートの内容等】 7ステーション

- ▶ 葵訪問看護ステーション（東住吉区）/広報、研修協力
- ▶ 訪問看護ステーションたちばな（東住吉区）/広報、研修協力
- ▶ 訪問看護ステーションうさぎ（平野区）/研修協力、コンサルテーション
- ▶ にじいろ訪問看護ステーション（平野区）/広報、研修協力
- ▶ CARE CARE訪問看護ステーション（平野区）/広報、研修協力
- ▶ 訪問看護ステーションみらあ（平野区）/精神科訪問看護関連の電話相談
- ▶ ゲン・リハビリ訪問看護ステーション（阿倍野区）/広報、研修協力

【協カナース名（所属・資格）/サポート内容等】 3名

- ▶ 山本克美氏(葵訪問看護ステーション・在宅看護専門看護師・訪問看護認定看護師)/コンサルテーション
- ▶ 田端支普氏(訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ・訪問看護認定看護師)/コンサルテーション、研修講師
- ▶ 蔵垣信子（訪問看護ステーションありく平野・訪問看護認定看護師）/コンサルテーション

目標に対する評価

- ▶ 1) ACP研修を実施し人材育成に貢献出来たが、セラピストからACP実践ができると思わないという少数意見もあり、引き続きACP支援実践の人材育成、啓発活動に取り組んでいく必要性はある。
- ▶ 2) ハラスメント研修の開催は知識を深めることに貢献出来たと考える。小規模事業所の多いブロックであり、ハラスメント研修がもっとあると良いというアンケート結果もあり、地域全体でサポートしていける体制づくりも必要だと考える。
- ▶ 3) 認定看護師から特定行為の実際について事例提供があり、活動の一部を知ることが出来、地域の資源であることが認識できた。引き続き周知と活用ができるよう努めていく必要がある。

まとめ

- ▶ 事業全体の効果としては、訪問看護体験研修や電話相談事業は開設間もないステーションのサポートにもなっており、地域の訪問看護師の育成・定着の一助となると考える。出来れば新規事業所や訪問看護に興味を持つ看護師にタイムリーに情報を届けたいものであるが、少なくともリスト化された非会員ステーションや大阪府看護協会員の施設へは1カ所だけではなく2カ所の教育ステーションの情報が一括して速やかに送付出来るよう連携して広報の準備をしておきたい。
- ▶ 今後起こりうる様々な危機的状況等において訪問看護サービスが継続できる環境等を整備するには連携の強化やハラスメントに対し地域全体でサポートしていける体制づくり、連携型BCP作成の推進等必要ではないかと考える。地域の専門・認定看護師の協力は得られる体制であるため、コンサルテーションの例としてあげるのも良いと考える。
- ▶ 次年度の課題としては以下3点を挙げる。
 - ・ ACPの地域での定着を促進する
 - ・ 地域全体のサポートとしての研修及びコンサルテーション事業の推進
 - ・ 地域連携の強化、特に2カ所の教育ステーションの連携を密に行い、市南ブロックの非会員ステーションや大阪府看護協会員施設への広報の実施